



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月10日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <https://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 飯塚 伸

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	514	18.6	33	30.2	32	31.4	21	34.0
2022年3月期第1四半期	433		47		47		32	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.26	
2022年3月期第1四半期	4.94	

(注1) 当社は、2021年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2021年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注2) 「1株当たり四半期純利益」は信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(注3) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,375	3,190	72.9
2022年3月期	4,442	3,292	74.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,190百万円 2022年3月期 3,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		18.00	18.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	16.0	350	0.5	350	0.0	250	0.6	37.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,924,200 株	2022年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	263,832 株	2022年3月期	263,832 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,660,368 株	2022年3月期1Q	6,660,368 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数には信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大抑止が一進一退する状況が継続するとともに、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発する世界的な資源価格の高騰や各国の金融市場の変動等により、景気の先行きに不透明感が続いております。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大とともに「働き方改革」の浸透により、もはやオフィスへの出勤を必要とせず在宅勤務やリモートワークを通常の勤務形態とする動きが、複数の大手企業においても見られております。こうした動きは企業のシステム・ネットワーク環境に大きな変化を及ぼし、サイバー攻撃に対するセキュリティ強化やリモート環境におけるシステム運用・監視の需要とともに市場動向は堅調に推移し、当社が属するソフトウェアプロダクツ市場においては8ヶ月連続で前年同月比増加となりました。（経済産業省2022年7月8日特定サービス産業動態統計調査（2022年5月分速報））

また、当期は当社創業から20周年の節目の年にあたり、主力製品である「ESS REC」の大幅な機能強化や、コンピュータシステムの安全と安定稼働の実現を目指して、新たな付加価値を継続的に創出する人材育成と組織作りへの取組みを開始いたしました。

このような状況のもと、当社は、前事業年度に掲げた重点施策である「顧客ターゲット別の営業推進」「ソリューション強化」「新人事制度定着による生産性向上」を当事業年度も継続し、事業に取り組んでおります。

「顧客ターゲット別の営業推進」については、顧客深耕営業（第1営業部）、純新規営業（第2営業部）、ビジネス協業営業（パートナー営業部）に加え、戦略的パートナーである株式会社エヌ・ティ・ティ・データに対応した機能を独立させて戦略営業部を新設いたしました。4つの顧客ターゲット別の営業組織に対して、プリセールスやサポート部門の担当SEをバーチャルで組織することにより営業推進を図っております。

「ソリューション強化」については、主力製品である「ESS REC」の大幅な機能強化（次世代型システム証跡管理製品）とAIを搭載した本人確認によるなりすまし防止製品の2つの新製品開発プロジェクトを進めております。また、特権ID管理製品「ESS AdminONE」のAPIの拡張による管理対象の拡大と他社製品連携によるソリューション強化により競争力を高めてまいります。

「新人事制度定着による生産性向上」については、導入2年目となり制度運用の改善を推し進め、生産性向上を実現させるべく、社員一人一人に合わせたマネジメントの向上と、社員のエンゲージメントアップを図ってまいります。

営業面においては、新型コロナウイルス感染症の影響を最大限考慮した上で、ハイブリッド開催などの工夫によるイベントやセミナーなどのマーケティング活動に注力し、当社ソリューションの認知度向上及び有効性についての訴求を行ってまいりました。「ESS AdminONE」については、さまざまなシステムをより高度なレベルで管理できる各種オプションを6月から販売開始いたしました。また、システム証跡監査ツールのクラウド版「ESS REC Cloud」、「ESS REC NEAO Cloud」の30日間無料トライアルを開始し、クラウド版の普及に努めております。

当社の当第1四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

当第1四半期累計期間におけるライセンス売上は、営業体制強化の成果により、前年同期比で25.2%の増加となりました。ライセンス売上に派生するコンサルティングサービス売上も、前年同期比で175.6%の増加となりました。また、ストックビジネスである保守サポートサービス売上等も引き続き順調に増加しております。これにより、売上高は514,078千円（前年同期比18.6%増）となりました。

一方、売上原価並びに販売費及び一般管理費においては、主力製品である「ESS REC」の大幅な機能強化（次世代型システム証跡管理製品）とAIを搭載した本人確認によるなりすまし防止製品の2つの新製品開発プロジェクトによる投資や機能拡張などを期初計画どおり実行したことにより、研究開発費が前年同期比68,531千円増加しました。この結果、営業利益は33,385千円（同30.2%減）、経常利益は32,541千円（同31.4%減）、四半期純利益は21,711千円（同34.0%減）となりました。

当第1四半期における製品・サービス区分別販売実績

（単位：千円）

製品・サービスの名称	パッケージソフトウェア事業※1		
	前第1四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	増減率 （%）
うちESS REC (REC)	80,183	77,218	△3.7
うちその他ライセンス	22,087	50,810	130.0
ライセンス	102,270	128,028	25.2
保守サポートサービス	289,648	318,065	9.8
クラウドサービス	21,081	21,849	3.6
コンサルティングサービス	12,293	33,878	175.6
SIO常駐サービス	5,387	5,400	0.2
その他※2	2,611	6,855	162.5
合計	433,292	514,078	18.6

※1 当社はパッケージソフトウェア事業の単一セグメントであります。

※2 その他の主なものはレンタル売上、SEER INNERのタームライセンス及び保守等であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ66,870千円減少し、4,375,560千円（前事業年度末比1.5%減）となりました。主な減少要因は、法人税等の支払及び賞与支給等に伴う現金及び預金の減少71,036千円、売掛金及び契約資産の減少21,838千円、主な増加要因は無形固定資産に含まれるソフトウェアの増加40,166千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ35,457千円増加し、1,185,023千円（前事業年度末比3.1%増）となりました。主な増加要因は、保守サポートサービス売上に係る前受金（契約負債）の増加250,108千円、賞与支給に係る社会保険料等の預り金の増加52,458千円、主な減少要因は、未払法人税等の減少140,012千円、賞与支給に伴う賞与引当金の減少103,685千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ102,328千円減少し、3,190,537千円（前事業年度末比3.1%減）となりました。主として剰余金の配当による減少120,865千円、四半期純利益21,711千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の第1四半期累計期間は、計画どおり進捗しており、今後の業績につきましては、引き続き国内外の景気動向にリスクが存在しておりますが、2022年5月12日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,736,436	3,665,400
売掛金及び契約資産	163,074	141,236
前払費用	50,538	44,860
その他	1,368	2,541
流動資産合計	3,951,419	3,854,039
固定資産		
有形固定資産	38,913	35,290
無形固定資産	122,378	162,545
投資その他の資産	329,719	323,686
固定資産合計	491,011	521,521
資産合計	4,442,431	4,375,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,776	60,864
未払金	46,227	56,604
未払法人税等	144,301	4,289
契約負債	634,742	884,851
賞与引当金	152,666	48,981
役員賞与引当金	14,000	3,750
預り金	6,344	58,802
その他	67,637	34,712
流動負債合計	1,117,696	1,152,855
固定負債		
退職給付引当金	1,150	1,250
株式給付引当金	1,000	1,200
資産除去債務	29,719	29,718
固定負債合計	31,869	32,168
負債合計	1,149,565	1,185,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,502,280	2,403,126
自己株式	△217,979	△217,979
株主資本合計	3,281,073	3,181,919
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,791	8,617
評価・換算差額等合計	11,791	8,617
純資産合計	3,292,865	3,190,537
負債純資産合計	4,442,431	4,375,560

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	433,292	514,078
売上原価	173,475	193,108
売上総利益	259,816	320,970
販売費及び一般管理費	211,986	287,584
営業利益	47,829	33,385
営業外収益		
受取利息	5	5
助成金収入	647	-
営業外収益合計	653	5
営業外費用		
障害者雇用納付金	1,000	850
雑損失	15	0
営業外費用合計	1,015	850
経常利益	47,467	32,541
税引前四半期純利益	47,467	32,541
法人税、住民税及び事業税	3,389	133
法人税等調整額	11,171	10,696
法人税等合計	14,561	10,829
四半期純利益	32,906	21,711

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。